

electro-harmonix

BLURST

Modulated Filter

Electro-Harmonix Blurstをご購入いただきまして誠にありがとうございます。Blurstは、内部もしくは外部のモジュレーション両方でコントロールすることが可能なアナログ・ローパス・フィルターです。パラメーターを駆使しヴィンテージ・シンセサイザーを彷彿とさせるサウンドをはじめ、様々なフィルターエフェクトのスイープを作り出してください。

一般的なエンベロープ・フィルターのモジュレーションはギターのピッキングの強弱によってコントロールされますが、Blurst内部のフィルターは、トレモロやフェイザー同様にインターナル・ロー・フリークエンシー・オシレーター(LFO)によって調節されます。エクスプレッション・ペダルやコントロール・ボルテージ(CV)機器を使用すれば、LFOでもフィルターとしてもより素晴らしいコントロールが可能になります。

Blurstのオールアナログの信号経路は、可変するレゾナンスを伴った4次ローパス・フィルターを採用しています。基本的なモジュレーションは、3つの波形選択が可能で、可変する内部LFOを経由してコントロールすることができます。LFOそれ自体を含むモジュレーションはデジタル的にコントロールされ、3つのタップ・ディバイドオプションを持ったタップテンポ機能と、3つのパラメーターの中から選択した機能をエクスプレッション・ペダルでコントロールすることが可能です。これらの機能は、あなたがBlurstで作りに出せるフィルター・サウンドの幅を広げるのに大きな役割を果たします。

— 使用方法について —

付属の9Vアダプターを接続してBlurstの電源をONにしてください。左側の黄色のLEDがモジュレーション・レートの設定どおりに点滅します。エフェクトをONにするには右側のBYPASSフットスイッチを押してください；オレンジのステータスLEDが点灯すればエフェクトがONになっていることを示します。

RATEノブ、もしくはTAPフットスイッチとTAP DIVIDEトグルスイッチを組み合わせることでモジュレーション・レートを設定してください。SHAPEスイッチで、モジュレーションの波形を三角波(▲)、上昇のこぎり波(⌋)、下降のこぎり波(⌋)から選択してください。フィルター・モジュレーションの周波数帯域をコントロールするにはRANGEコントロールを回してください。最大の周波数レンジはRANGEノブの50%(センタークリックのある12時の)位置になります。RANGEノブを反時計回り(LO側)に回せば、周波数レンジは小さくなると同時に低い周波数へとシフトします。RANGEノブを時計回り(HI側)に回せば、周波数レンジは小さくなる同時に高い周波数へとシフトします。

RESONANCEコントロールはフィルターのレゾナンス(Qファクター)を設定し、フィルター・サウンドのアウトプットレベルにも影響します。ドライ音(原音)とフィルターサウンド(エフェクト音)のミックス具合をコントロールする場合はBLENDノブを設定してください。

EXPジャックにエクスプレッション・ペダルもしくは適切なコントロール・ボルテージ(CV)機器(EHX 8-Step Program等)を接続するときには、3-wayのEXPモードスイッチでエクスプレッション・ペダルもしくはCV機器でどのパラメーターをコントロールするか選択します。RATEモードではモジュレーション・レートをコントロールし、コントローラー側がMAXのポジションでRATEノブの設定と同等になります。もしタップ・テンポ機能がONになっていれば、コントローラー側がミニマムのポジションで現在のタップ・テンポの設定と同等になります。RANGEモードではフィルターのフリークエンシー・レンジをコントロールします。コントローラー側がMAXのポジションでRANGEノブの設定と同等になります。FILTERモードでは、エクスプレッション・ペダルもしくはCV機器はフィルターのカットオフ・フリークエンシーをダイレクトにコントロールします。このモードを選択時にはRATEコントロールとRANGEコントロールは無効になります。

—コントロールと接続、電源について—

BYPASSフットスイッチ & オレンジステータスLED—オレンジのLEDはエフェクトONのときに点灯します。十分な電圧が供給されていればステータスLEDが明るく点灯いたします。エフェクトをON/OFFの度にフットスイッチを操作してください。エフェクトがOFFのときには本機はトゥルー・バイパスモードになります。

イエローフィルターステータスLED—黄色のLEDはフィルターのカットオフ周波数の現在の設定にもとづいて点灯します。ほとんどの場合フィルターを変化させるLFOのレートを視認するのに用いられます。

注意：特定のセッティング (RANGEノブのポジション)においてLEDは点灯し続けるか全く点灯しません。

TAPフットスイッチ—LFOのテンポを、スイッチを踏む間隔で決定するフットスイッチです。

VOLUMEコントロール—エフェクト時のアウトプットボリュームを設定します。

BLENDコントロール—ドライ音とウェット音(エフェクト音)のミックス度合いを設定します。

RESONANCEコントロール—フィルターのレゾナンスを設定します。このコントロールはエフェクト音のボリュームにも影響します。

RANGEコントロール—フィルター・モジュレーションの周波数レンジを設定します。ノブの位置が50%(真ん中)のときにMAXの値となります。ノブをセンターポジションから左側へ回すにしたがって周波数レンジは小さくなり、センター周波数は低くなります。ノブをセンターポジションから右側へ回すにしたがって周波数レンジは大きくなり、センター周波数が高くなります。

RATEコントロール—モジュレーションのスピードをコントロールします。

EXPモードスイッチ—エクスプレッション・ペダルでどのパラメーターをコントロールするかを決定します。

TAP DIVIDEスイッチ—4分音符でのタップのタイミングを基本にして分割するリズムを設定します。

SHAPEスイッチ—LFOの波形を設定します。

INPUTジャック—楽器もしくは他のエフェクトペダルのアウトプットからケーブルを接続してください。インプット・インピーダンスは2.2MΩです。

OUTPUTジャック—Blurstのオーディオ・シグナルを出力します。アウトプットインピーダンスは220Ωです。

EXPジャック—TRSプラグタイプのエクスプレッション・ペダルもしくはCV機器 (EHX 8-Step Program等)を接続します。

9V 電源ジャック—本機の上側にある9V電源ジャックにACアダプターのプラグを接続してください。必ず付属のElectro-Harmonix JP9.6DC-200 ACアダプターを使用して下さい(それ以外の、誤ったACアダプターの使用は故障や事故の原因となり保証対象外となりますのでご注意ください)。Blurstの消費電流値は9VDCセンターマイナス/56mAとなります。



——— 正規輸入代理店 ———

KYORITSU CORPORATION

〒468-0002

愛知県名古屋市長天白区焼山1丁目813番地

カスタマーサポート

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp